

日本



食品ロス



だめ！

ページ・ヤング、ジュデイ・キム、ニコ



場所

CSUMB
(東キャンパス)

何ヶ月間
1ヶ月間

内容

食品ロス

ターゲット
オーディエンス
大学生



- 授業では、日本では食品ロスの問題が深刻化していることを学んだ
- 日本は自給自足できるほどの食料を生産していない
- 日本は食料の輸入に大きく依存

日本



統計学

主要国の食料自給率（カロリーベース食料自給率）（単位：パーセント）

国名	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015
アメリカ	117	112	146	151	142	129	129	125	123	135	129
カナダ	152	109	143	156	176	187	163	161	173	225	255
ドイツ	66	68	73	76	85	93	88	96	85	93	93
スペイン	96	93	98	102	95	96	73	96	73	92	83
フランス	109	104	117	131	135	142	131	132	129	130	132
イタリア	88	79	83	80	77	72	77	73	70	62	62
オランダ	69	65	72	72	73	78	72	70	62	68	64
スウェーデン	90	81	99	94	98	113	79	89	81	72	77
イギリス	45	46	48	65	72	75	76	74	69	69	71
スイス	-	-	-	-	-	-	-	59	57	52	51
オーストラリア	199	206	230	212	242	233	261	280	245	182	214
韓国	-	80	-	70	-	63	51	51	45	47	43
日本	73	60	54	53	53	48	43	40	40	39	39

出典：農林水産省試算^[8]

- 日本の食料自給率が低下している
- カナダやアメリカは食料自給率100%以上を維持
- 日本は毎年1,900万トンの食料を廃棄
- アメリカも4000万トンも捨てている
- アメリカは日本の2倍以上の量を捨てている。
- 私たちは、CSUMBの大学生との食品ロスをどのように制限できるかに焦点を当てたいと思う



理由

- 多くの大学生にとって、一人で生活するのは初めて
- 食事の計画と適切な食品管理に関して経験が浅い
- まとめて買うほうが安い
- 賞味期限が長い食品はできるが、パンや果物などの生鮮食品は難しい
- アメリカの大学生は、学年ごとに学生1人あたり112ポンド(50kg)の食品を浪費している
- このプロジェクトは、その膨大な量の食品ロスを減らすのに役立つ





グループ



- CSUMBや他の参加大学のRAを巻き込むことができる
- 食べ残しの食べ物を集めるために地元のフードバンクを巻き込む
- 成功すれば、日本に留学したり、海外で働いたりするときに、生かせる



プロセス

01

RAは大学生にアンケートを実施

02

「MY RAFT」で食べ物のセクションを作ります。食べ物のセクションは大学生が食品を交換できる(取引する)

03

東キャンパスに小さい食品パントリーを作る



04 アンケートの結果を記録



05 フィードバックを反映する

調査例

食品ロスの調査

日本で1年間に消費する食べ物の量は国内産がおよそ3000万トン輸入がおよそ5500万トン合計8500万本です実はそのうちの1700万本が捨てられていますこれは5000万トン。

Switch account

* Required

何年生ですか。*

- 1年生
- 2年生
- 3年生
- 4+年生

残りを捨てられての経験ありますか。*

- はい、いっぱい捨てられます。
- いいえ、あんまり捨てないです。
- 時々捨てられます。

大学校で食品ロスを減らすためのプログラムを作成すれば、いいアイデアと思いますか。*

- はい、興味があります。
- いいえ、興味がありません。

[リンク](#)

Questions?

